

「次世代スマートデバイス開発プロジェクト」に対するパブリックコメント募集の結果について

平成 25 年 7 月 30 日
N E D O
電子・材料・ナノテクノロジー部

NEDO POST 3 において標記基本計画（案）に対するパブリックコメントの募集を行いました結果をご報告いたします。
みなさまからのご協力を頂き、ありがとうございました。

1. パブリックコメント募集期間
平成 25 年 6 月 21 日～平成 25 年 7 月 4 日
2. パブリックコメント投稿数＜有効のもの＞
計 1 件

3. パブリックコメントの内容とそれに対する考え方

ご意見の概要	ご意見に対する考え方	基本計画・技術開発課題への反映
<p>全体について</p> <p>[意見1] (1件)</p> <p>本PJは、これからの日本の技術力アップのためにも大変重要なPJであると認識している。またその出口である事業化として難易度の高い車載用途をターゲットにしていることは、達成レベルという観点から意義があるが、本技術自体はビッグデータを取り扱う用途には共通の基盤技術となるため、その確立が何よりも重要と考える。一方国としてもその完成した共通基盤技術を横展開させる（例えば医療とか）ための活動を支援する取り組みも本PJのタイムフレームのどこかで検討する事が必要である。</p> <p>また標準化という言葉の定義を明確にする必要があるが、事前評価書2項(2)7)内にある「プロジェクト内での標準化活動は想定していない」という一文についても基本計画5項(1)②の文書と矛盾しているような印象を受ける。強い武器となる判断できたタイミングで、標準化活動をしないとイケないのでは？と思う。</p> <p>いずれにせよ日本のモノづくりの継続性のため、本PJの完遂のため積極的にサポートしたい気持ちで一杯である。</p>	<p>[考え方と対応]</p> <p>この度は貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>本PJは安全運転支援を実現するためのセンシングデバイスの開発、車載センサーの情報から障害物を認識し危険度を判別するアプリケーションプロセッサの開発、多くの車から収集した情報を分析するプローブデータ処理プロセッサの開発を行うことで、渋滞緩和、交通事故低減に寄与し、低炭素かつ安全な次世代交通社会の基盤を整備するものです。併せて、我が国の自動車及び自動車部品関連企業の競争力強化に資することを狙いとしています。従って、本PJは自動車産業関連分野に注力する活動になります。</p> <p>また、このように分野に特化したデバイスは分野専用品になります。分野専用品はデファクトを獲ることで競争優位性を構築することを想定しているため、事前評価書4.(2)7)で「プロジェクト内での標準化活動は想定していない」と記しております。</p> <p>他方、標準化等に係る活動は必要に応じて実施することも考えられるので、基本計画5.(1)②において「研究開発成果は、標準化等との連携を図るため、標準化提案に係る評価手法の提案、データの提供等を必要に応じて実施する。」と記して取り組むこととしております。</p>	<p>[反映の有無と反映内容]</p> <p>特になし</p>

以上